

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ:(種子島の観光スポット)

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み, 説明を書く)

※ 注意...単なる引き写しではなく, オリジナリティーを追究し, 面白い内容を目指すこと。

○ 種子島の観光スポット

< 自然を生かした観光スポット >

1. 雄龍雌龍の岩

「雄龍雌龍の岩」は中種子町の西海岸にある観光スポット。波打ち際に、寄り添うように立つ2つの巨岩が特徴。

(伝説) ある嵐の夜、達五郎と藤江といふ仲の良い夫婦が崖崩れに巻き込まれ、夫婦岩として生かされた。右側が雄龍岩、左側が雌龍岩と呼ばれるようになった。

3. 千座の岩屋

南種子町の東海岸にある種子島最大の海蝕洞。1000人以上収容するほど洞内が広いため、その名が付けられたと言われている。

5. 象の水飲み場

種子島宇宙センターのすぐ近く、竹崎海岸にある観光スポット。波の侵食によってできた奇岩が特徴的な種子島。

(由来) 象の水を飲む様子に似ていることから、名付けられた。

7. 日本一の大ソテツ

中種子町南部に位置する坂井神社の境内には、推定年齢600年以上の大ソテツがあり、町のシンボリック存在になっている。

* 樹高7m、樹長10m、根回り2m以上という立派な雌株のソテツで、「日本一のソテツ」と呼ばれる。

2. 男淵・女淵の滝

上に流れる「男淵」は幅4m、高さ4m、下に流れる「女淵」は幅5m、高さ5mとなっている。平坦な地形の種子島には珍しい滝で、マイナスイオンを感じる貴重な観光スポット。

4. 種子島マンゴローフ

海水と淡水が入り混じる汽水域に分布するマンゴローフ。日本の北限とされているのが種子島で、南種子町にはマンゴローフ植物のひとつである「キヒルキ」が自生する。

* カニヤハヒとマンゴローフ特有の生植物を見つけたら、カマッパ体験もできる

6. 宝満神社、宝満の池

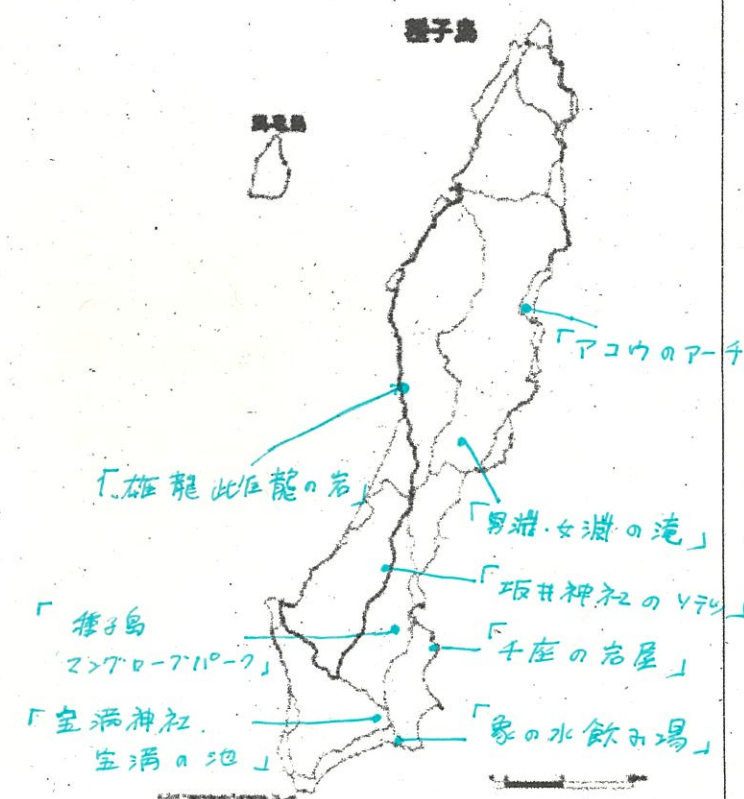
18人の従者を連れてこの地に降臨したといわれる五依姫を祀る宝満神社は、毎年4月に開催される古式の田植祭りで有名である。宝満神社の近くには、島内最大の面積を持つ淡水湖である宝満の池がある。

(伝説) 「馬場の岩屋」と呼ばれるところにあるといわれている。

8. アコウのアーチ

東海岸に面した安城地区にある「アコウのアーチ」(伝説) 台風によって道路上に倒れたアコウの巨木が、そのまき幹の部分から根を張って成長し続けた結果、アーチ状になったといわれている。

○ 調べてみて...
種子島にはその土地の自然や気候を生かした観光スポットがたくさんあった。私がとり上げたこの8つの観光スポットの他にもたくさん自然や歴史と関係が深いスポットがたくさんあって、ほのぼの町下町と思った。調べてみて、知らなかったところや、行ったことのない場所がたくさんあったので、いつかは足を運んでみたいと思った。



※ 参考文献/出典 (著者名, 書名, 出版社名, 出版年), HP (サイト名, URL)
 (例) ・井元正流『種子島』(春苑堂出版, 平成11(1999)年)
 ・西之表市役所HP (http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html)
 ・ととあそび (https://sotoasobi.net)
 ・種子島の観光マップ、ふるさと種子島
 ・7-7ルマッポ

評価
 A: オリジナルな見解が盛り込まれている。 B: 一通り書けている。 C: 不十分な分量・内容。